

県内活火山、防災対策は

とうしん大
弘前教養 佐々木さん(講師)紹介

東奥信用金庫が主催する2018年度「とうしん大学」の弘前教室第1回講座が11日、弘前文化センターで開かれた。弘前大学理工学部地球環境防災学科講師の佐々木実さんが

県内の四つの活火山や防災対策を紹介した佐々木さん

ツジの単位認定講座。弘前と黒石の両市で毎年各5回開催している。

佐々木さんは県内にある四つの活火山(岩木山、八甲田、十和田、恐山)の特徴や噴火の歴史などを解説。「県内の活火山には現在噴火に至るような前兆現象は見られないが、活火山である以上、長期的に見れば噴火はあると考える必要がある」と語った。

その上で「発生してから逃げるのでは遅い」として、過去の噴火実績に基づくハザードマップの作成、火山活動の監視、避難計画と訓練の重要性を説いた。

(石田紅子)

※この画像は当該ページに限って陸奥新報社が利用を許諾したものです。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科 E-mail:r_koho@hirosaki-u.ac.jp